

専門分野 基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	臨床看護総論 1単位 30時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	白鳥智美	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>臨床看護総論では、看護の基本として多様な健康上のニーズを持つあらゆる発達段階の人々に、基本的な看護学の知識や技術を統合し、応用するプロセスを学ぶことを目指している。入院・退院時の患者・家族の看護を中心に、臨床の場における看護師の役割について認識を深め健康状態の経過に応じた看護援助の必要性を理解する。専門分野Ⅰの学びを臨地実習および専門分野Ⅱへと発展させる学習である。</p> <p>ここでは、対象の経過別、主要症状別、治療・処置別看護を学ぶことをねらいとしている。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1.健康上のニーズを持つ対象者と家族への看護①	講義	
2回目	1.健康上のニーズを持つ対象者と家族への看護②	講義	
3回目	1.経過に基づく看護1 急性期① 1) 急性期の特徴 2) 急性期患者のニーズ 3) ICUに入室している患者の看護 4) 侵襲の強い検査 手術を受ける患者の看護	講義	
4回目	1.経過に基づく看護1 急性期② 1) 医療機器 2) 家族看護	講義	
5回目	1.事例展開 オリエンテーション	講義	
6回目	1.事例1 心筋梗塞の患者の看護	グループワーク	
7回目	1.経過に基づく看護2 慢性期 1) 慢性期の特徴 2) 慢性期患者のニーズ 3) 慢性期患者への看護援助	講義	
8回目	2.事例2 COPD患者の看護	グループワーク	
9回目	1.事例1 心筋梗塞の患者の看護 2.事例2 COPD患者の看護	発表会	
10回目	1.経過に基づく看護3 回復期・リハビリテーション期 1) 活動や休息に関する症状に対する看護 2) 安全に配慮する看護 3) 家族看護 4) 継続看護	講義	
11回目	1.事例3 大腿骨近位部骨折の患者の看護	グループワーク	
12回目	1.経過に基づく看護4 終末期 1) 化学療法や放射線療法を受けている患者の看護 2) 疼痛緩和 3) 安楽に対する看護	講義	
13回目	1.事例4 進行胃癌の患者の看護	グループワーク	
14回目	1.事例3 大腿骨近位部骨折の患者の看護 2.事例4 進行胃癌の患者の看護	発表会	
15回目	終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 (60%) 提出物・発表会での発言 (40%)		
受講生に対するメッセージ	授業は講義形式、事例展開ではグループワーク・発表が中心となります。事例展開では事例について課題があり、提出された課題、発表資料・態度も評価の対象となります。この授業は専門分野Ⅱにつながる科目です。積極的に臨み知識の修得に努めてほしい。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学④ 臨床看護総論 医学書院		
参考書	今まで使用した教科書		